

河内名所記 綿部郡

天野山

小山田

目野

扇山

光瀧寺

岩瀨寺

加賀八幡

小塩

妻木屋

西板拍

女山

中田 毎有郡

後山池 同前

小野田 同前

丈六 同前

原寺 同前

西村 同前

黄捲 同上郡



河内名所記 綿部郡

石佛
 片添
 三門市
 上回八幡
 魁住
 河合寺
 金胎寺
 横山天神
 伏見堂
 皮方

綿那
 高向
 仲哀天皇御沖之廟
 西代
 京村
 長野村
 白神村
 市村
 高向回
 小向回

太村
 菅生
 大保
 天武天皇御沖之廟
 河原村
 河原塚
 多治井
 小寺
 今井
 西谷回

西浦
 白神沖廟
 権大臣廟
 藤井慶俊
 野中村
 野中寺
 安閑天皇御廟
 高屋城江
 古市常安
 西琳寺

藤原

○天野山

寺号ハ金剛寺也其菩薩開基の勝地なり其後
 弘法大師後ひれ具場あり禪定仙院勅額の所也
 本堂ハ南じま大目ハ丈六脇立ハ不動尊三世
 権化也塔あり親者堂業師堂之ハ伽藍敷敷
 河内橋門ハ此山ハ木函左右ハ山ハ弘法ハ此也
 とも切敷七十坊あり
 丹生ハ神水分ハ神孔雀明王ハ此法多あり
 天照太神奇牙天善女龍王三法此ハ育我の社也
 聖武天皇皇女勝王姫勅額
 後白河院 院宣
 大織冠 自養ハ此也
 光の者又自養の此也

高倉院

廳宣

中約娘

自養此所經

後鳥羽院

宣旨

赤八幡の所新弘法自養

後醍醐天皇

倫旨

鉄塔 弘法唐分清来

後村上天皇

倫旨

楠戸乃女教通あり

東寺の佛舍利九粒禁中より御寄を

倫旨あり

得紙金字九法華經を新弘法大師御自筆

札物云々心氣代々御軍印兼印あり

後醍醐天皇乃御せあふ御所の回次の御有

内侍今本号親善ハ長目川地為ハ弘法此作とん

千手院千手親善御長後醍醐天皇乃御所修善院始末

御親善御徳太子此御所修善院土面千手親善

御長 御所修善院土面親善御長天聖清信御之標松茸名也

相奇 ありのまけりこまろとこ

種好

おらあて流よのません天野酒久と香ととあつと今とあ

山よまかしくまやままあまの酒 可正

あつむろ湯つりうま天野酒 措板

くまらんようあわやう野標 忠昌

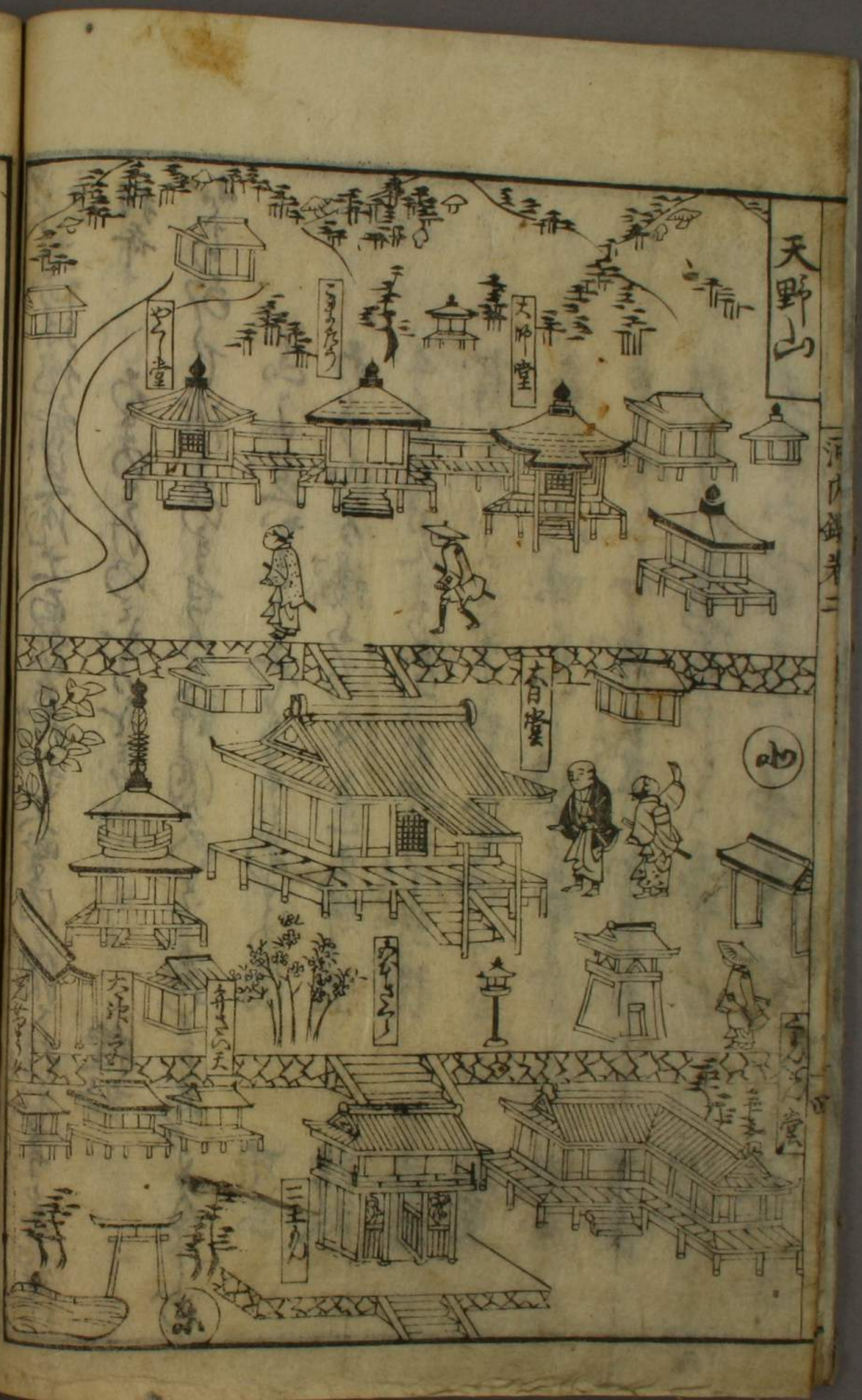
宵戸門よらうや天聖御うま 弘重

松茸乃味色一海あま御小 唯正

あまらんよ焼松茸あまの子 幸安

松茸れ蒸やうりら天聖うま 以仙

天聖山よりさ記うや雪乃花 政公



○小山田村練文寺正親善河長七尺二寸弘法乃河作
○日野村正親善河長二尺五寸堀山天目寺楠正成の作

不^レく日野^ノ小袖^ヤさく初 政公

初物と日^ノ初^ノい^ハん^ニ光伯

花ふ^レむ^レさ^レや^レ初^ノ自^ノ親^ノ善^ノ業^ノ の清

○藤山天山扇ひ^ハむ^レさ^レあ^レる^レ藤^ノ山^ノ善^ノ成^ノの^ノ作^ノ

程奇

乃次

花^ノ人^ノ酒^ノふ^レあ^レひ^ハて^ハさ^レら^レの^ノれ^ノは^レと^ハと^ハ地^ノの^ノあ^レり^ハや^レさ^レる^レ藤^ノ山^ノ

風^ノ波^ノと^ハの^ノ開^ノく^レや^レ扇^ノや^レも^レ保^ノ 正房

初^ノく^レや^レ扇^ノの^ノ山^ノれ^ノの^ノあ^レる^レ花^ノ 忠之

扇^ノの^ノあ^レる^レ初^ノの^ノ扇^ノた^レる^レも^レや^レ扇^ノ山^ノ 甚良

あ^レる^レさ^レけ^レる^レな^レも^レ藤^ノ山^ノ郭^ノ云^ノ 良經

志^ノ多^ノり^ハ来^レれ^レけ^レや^レさ^レる^レ藤^ノ山^ノ 良賢

風^ノの^ノ波^ノの^ノ舞^ノも^レす^レや^レ扇^ノや^レま^ノ 義元

友^ノれ^ノ初^ノの^ノ礼^ノ後^ノの^ノあ^レる^レ藤^ノ山^ノ 友和

初^ノの^ノさ^レり^ハて^ハの^ノ作^ノは^レ藤^ノ山^ノ 周永

あ^レる^レさ^レわ^レる^レい^ハふ^レ藤^ノ山^ノ 政長

と^ハ藤^ノ山^ノの^ノ風^ノの^ノさ^レる^レや^レの^ノ扇^ノ山^ノ 仲宗

あ^レつ^レさ^レ日^ノと^ハ伊^ノの^ノさ^レる^レ藤^ノ山^ノ 可圭

雲^ノれ^ノ繪^ノや^レさ^レ来^レひ^ハる^レ藤^ノ山^ノ 久貞

涼^ノ風^ノや^レ多^ノ凡^ノ神^ノ風^ノあ^レる^レ藤^ノ山^ノ 未心

涼^ノ風^ノや^レ立^レる^レ初^ノの^ノあ^レる^レ藤^ノ山^ノ 乃次

河内鑑卷二

非も月とあはれんらん
如きいん女是のらん
弟と本も月と縁やう
月と見たりなめとや
編書てむらや金れ
新骨れ新よのや扇
玉も海や非れかめ
秋の夕やほしけれ
与市やうて扇やま
扇とつ陰座のふら
月とけれとも扇の
の腰

一更
及次
浮葉子
舟雄
可次
重次
及次
野鹿
正儀
良徳
林城

和意するや皆くま
少の雷はまこ地な
降はもり雷や白地
○光籠ち二号八袖
あ脇と金剛世いつ
乃とよ作の具像也
跡の烟村泉を親書
花のほの光の離り
月影や思ふと無と
光れ影乃ほくくハ
かそ岸や夕し白束
不動
天竺震且
又五丈落
又五丈落
又五丈落
又五丈落

正武
西謙子
林城
好昌
重栄
好昌
松緑
如貞

光ノ跡寺



若瀨寺土面観音大師一刀三礼此他跡あり

若瀨や花ノ跡入ん此世者 一十

○加賀田八幡田の西村 各通ち石観音ノ梵字在長寺

加田ノや山あり小輪ハ此世也水

○小湊珠寶山抄云敬寺土面観音山長 香徳太子此他

○香徳太子

花と火とくりくると今たへる也 則武

送り火や肉しひと魚とねめ也 政長

○石仏村弘法ノ作と傳あり 秀綱

のら世とくすけと神ひし物来とこ石佛八

○片深村観音寺正観音門長二尺三寸作石知

○三日月市何のほよつあらん高野まよてつわらん
公ふふ一宿まよつあらんはるまにらて寝冊あつた

野山旅客

鳥丸賢良

さうやれ一敷のまらわらひの書海をわらうこの系

自奇

月輪古茶師有切有青

菊哲

写とまらぬるれ市之にうり碎ふとこれ金のうら

酒のまらぬる生るうり市

意綱

挑れ酒賣りのやうりうり市

正寛

○と田の懐又あはれこれ八懐たつふらつ以あつた似え故也が
一切強堂有金佛れ歌迦在正法寺聖観音以長二尺六寸

うら田村やあつたうら田村の八懐

光伯

八まんり社銀の苗とらうら田

保友

狂歌

若立

なまらう様れわらう目あまらうふらうられあはれうらう

曰

貞室

あはれこれいふあはれこれあはれこれあはれこれあはれこれ

慶もやういふあはれこれあはれこれ

政公

あはれこれいふあはれこれあはれこれあはれこれ

津久

三月月の中やういふあはれこれあはれこれ

周永

あはれこれいふあはれこれあはれこれあはれこれ

重次

とらえよまらぬあはれこれあはれこれあはれこれ

周永

校書やういふあはれこれあはれこれあはれこれ

宣休

鳥りごと八幡



鬼伯者ハ山小位ケルコトナクハナリト云有鬼ノ塚あり

常樂と兼味 燈像ハ長延寺石地蔵弘法ノ承

山号ハ法羅山ト号ス一若奉願唐如意編凱者太子界

鬼伯ト中ノ色ハ冷ト云本法ノ邪

自延

鬼伯ノ所ニハ牙ノ形ナクハ

唯正

色然モ其鬼伯ノウケクハ

周正

河合寺天智天皇御 我下山号ハ寶珠山後引若利園基

上面ナキ観者ハ初若也他ニテ

初観者ハ所也ト云一ハカハハ

於ケル子れ

保交

良源

河合寺



○金胎寺背の峰にありふくは新村上西観音作事と

はむ花とあぶらけけり金胎寺

弘重

月と日乃新や陰陽あんと寺

華岳

やと心あふ晴や色娘村四角

宣休

○横山天祿大石の極出波の地寺と号上西観音在長石寺の白炭出

立あふく月人心横山乃あふ

周西

横山よとくあまのりる小萩の

一之

よこ山に月や照くは白中ん色

扇斗

横山れ風よ落ふ小栗の

忠貞

ふこ山や落つてはての地乃と

每雄高

横山乃白炭のあふの

横板

○伏見堂観音心寺如意輪観音の御像一尺二寸
 ○校方村蓮花心寺正観音院招攝出ル
 綿米村人丸田江崎如意輪観音弘法作一尺三寸五分

人丸のりくま

長とすくりにかてはに物綿那山あまありきり
 深多の山標をくろく一十

同一校とくそくし光栄

標木乃紅紫のくろく美高

○多向村慈持寺十一面観音神長 美月乃作

○上原村哀天寺の社殿石版石の鳥居有社傍に
十四代 祝善堂の普門寺と号す正観音神長三人守一巻ノ作

上原村



○西代村恩回寺十一面觀音門長二尺一寸二分

○原村寶光山法華寺十一面觀音金佛比長六寸

○吉野村極樂寺正觀音所長二尺五寸後引者乃所地

○向野村紫雲寺正觀音所長二尺五寸あゆみの作

○市村天祥寺所長二尺七寸太夫の作

夕涼寺所長一尺八寸いりり松

乳落寺所長一尺七寸いりり雲

○南向回響路寺觀音堂有度像所長三尺五寸

○水向回慈眼寺正觀音所長二尺七寸吉野地牛次天王社有七村

○西板橋の極楽茶所所長二尺五寸同村有度像茶所有四寸

○女山所長一尺八寸地蔵堂あり

女山所長一尺八寸地蔵堂あり

はぐ山所長一尺八寸やまのり

花咲所長一尺八寸の老木もほくやん

女山所長一尺八寸くろくろやま

女山所長一尺八寸花うらひほくやん

女山所長一尺八寸れいれい乃雲やま

○中田茶所如來所長二尺五寸あ樂寺と号す

○授山池所長一尺八寸そこの石の極有妙甚菩薩乃作なり

尺八通所長一尺八寸の茶もこの小和田之湯也天下おきて

茶もこの茶もこの茶もこの茶もこの茶も

茶もこの茶もこの茶もこの茶もこの茶も

名信

良弘

貞弘

由久

唯正

直休

夕々しうらやまの池やうらなり

夕たらしらやうの池やまじあり

さやま池秋風吹や久八植

う入やまやの池小月うらん

いてかふままれさまの池の月

銀羽とわくやまの池れき

○山野田茶畑如來河長二尺太子の池

○文六村首の丈六の教か育今ハ不動之佛之森為神社あり

○原も大聖寺茶畑如來河長二尺

○西村観音寺十一面観音河長一尺寸

○黄檗村十一面観音河長三尺寸鬼子母神社あり

○太村翁王権現寺も号ハ神現也本寺の河長六尺余里是也
菅生天神

さかひひ子とゆやとくれき

可尚

○大保村河内鴻うらまわーにりありとひひつる

西夕のり月や大保の赤人の屍

黒水

○天武天皇御廟皇山下有茶畑皇山も号ハ神現也

皇山皇山やまも人ほく深とく河也

保友

とらあはらうらまの池やまの池やうらなり

輝る池やまの池やけり川のまじり

政云

黒山とくつうまの池やけり川のまじり

貞弘

黒山やまも人ほく深とく河也

保友

くろ山村

天武天皇御廟所



河内村

○河内村清へ河内地ちと号して土田を以て申す云
 今上坊有系乃と云據は家れま也多皇道法師ぬらむらにん
 多皇道といふ事ありわらう一れ聖小乃乃志ぬと初と人つとを

一有

吹風いあうらんを心何とまらぬを花を雲以る

同

正明

残かこいじうとせりふ何とまれその縁ういや也十八と人

何とまれ友の来道つはあを小
 映翠軒

凡ふりやせつしうらぬあすき
 貞因

あさちちやほまらる環教乃系乃
 良弘

河内院ちやわらひぬれ系乃
 良長

河内村

○河内保村むらう城江あり

魚鱗ぎょりんやいしくさくさくはるはる

一十

○西治井名松天神

粗奇

富吉

老妻之又名相も本社より西に月申自在と神

名妻のりもくもり松露や神あり

好春

○小寺村素師如来座像ゆき又尺寺春日作必念福親為所

長八寸又々乃佛舍利あり

○今井村大寶山法雲寺惠極和尚開基本堂乃

本尊正親為座像所長一尺六寸乃く殿之八歳

龍女名殿童子

今井村



○西坂田親壽寺十一面觀音御長一尺七寸太子御作
 ○西ノ浦新井山寶津寺觀音堂十一六世漢堂ノ
 旧記

みろくもや東なりこれ象さう
 西の海は深しやとるうななな
 ○景行天皇乃河子白神乃の所志くがふしつひ
 かしつひ

つらほもの君の柳や白神の
 布れ花やまゝのりれわぐふ
 正妻のうゑれ常やまゝ
 雷埋じ廟や白神の神の
 周西 弘聖 改弘 久佐

景行天皇



○文武帝の臣下將り大に其廟有すこと別村に以て遺を
使向者士人願ふ燈卷鬼と号をもと也子彌彌此宰相彌乃り
く玉よとりの兵那王君とてんて波とあまの酒の

秀綱

燈卷木此仲つさうけ消とそほさるのむりやう中へ大に

天龍や將墓の乃り常も

幼志

將しくふとて堂や燈卷木

野鹿

○友井野中村元亨秋書曰釋慶俊姓藤井氏内
別人事道慈學空宗居大安法華等寺嘗テ
開愛宕山為第一世天應元年為僧都性懷悲
愍好施貧病無其後出生心也旧記あり

程奇

河内野中正信

おのろやこれとあさう友井とと花ううとひささ人の酒

さうり友井ふうつりや何なり友

回魚

律のいふ心や友井せん花かん酒

正信

○野中村波教の太子所建立の地也則の号の野中寺号
本堂茶師所像一尺二寸亦十一面觀音立像一尺寸法守
牛以天王所繪の佛かさのらん此繪式十七幅あり
○野中寺の号の龍山院号の徳蓮院聖徳太子此廟基
蘇赤大たれ弟剣也首七堂伽藍乃灵場也いけさ乃
乱の時ふりあらん焼滅しゆとさかんあさりく久末を
計ゆりたりと安に寛文の法阿闍梨光英と云ふてうや

乃其場を結かんまきとありと結方にいんふん今も
 の助力ふりりてせん本堂乃茶師堂建立たる茶師
 産像印も二尺七寸太子は他也追付子安乃とんを堂
 建立ある一とかなりもやとろくせんといふ二尺寸を金
 佛也重や佛れ太子乃此釈あり時沙のありとるある弁天
 の社有善女新王のや一海あり太子乃岡か井井瑞を
 乃甚井揚枝とともいふ場あり井あり法も八幡の社を
 びふと今の野ととと中も是別院も実泉とと云堂塔也
 の旧記も大坂軍れ時吉田方揚つ依いありしとびと野
 がせり山陳と九合戦して大坂ひと九中も老人の物流りゆ
 咲花のたりのりかひより野中あり

則武

野中寺



手向んじむま清水や野中も

可山

たじろくや野中に生る藤原

の居

かんさん時しや聲中一ち

正俊

○安閑あんかん天皇御廟も在る塔の本丸のまゝに是は廟也

○と小島こじま山古塔の射ち正と申る堂形とて八十八の島の

城の作も是恒塔とて也天皇此山とてありや能く

い城おもしろくと申傳へ侍り南に赤王堂と云ふ不動有

夜奇

一也

右塔れ島にひくともいなくもいひるをむくやすれ

廣子より藤原とすくくたる屋敷

久任

月代りありあらんけりるをくく

西島

○古市ニ雲れましくあり又向馬のまきくあり

やましくもろく藤原ふたり花ありとていふくあり

ふせやろく市にありあり

義政

ま白り花ゆとろまぬ井小

一十

○西琳寺

向原寺改テ号西琳寺ト百派園之聖明王ヨリ赤梅檀之

釈迦像畏首端之作開淳檀金ト一面觀音并經卷佛舍利

等初日本後之欽明帝天皇勅改換我縮目令守護

之ヲ縮目造向原宅安置之即改為寺号向原寺是

日本佛寺家初也元享釈書云先天王寺ニ於九年

造佛立寺之權也云云三國佛法傳通録起等寺本安



記之境内四方書等後宇多院宮符宣在之
 寶塔真柱石礎底ハコトノシノシ 刻一字雕付在之ハコトノシノシ 刻
 巫謂佛閣崇重ハコトノシノシ 國ヲ保故瓦
 一 教尊ケウソン 脇土ハコトノシノシ 不動明王フドウメイオウ
 一 座像土面觀音ズエゾウツチノミツウ
 一 地藏菩薩ジザイハツサ
 一 間浮檀金土面觀音マウフタンキントウノミツウ
弘法大師ノ作
安阿林ノ作世平孫宮親云
天神ノ四化ツトリノ地蔵ト云
ハサキノ親考ト云
 意弼
 可法

入方乃月乃人とかあ海乃西湖と
 可法

可法

可法



海內金卷二

三十一

37

